

## 新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和5年度）

### 1 支援の内容及び効果等

#### 評価項目

##### 「取組状態・自律度の状況把握シート」

- (1) 「I 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「II つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「III 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動が再開された一年で、特にイベント行事において担い手の減員やノウハウの不足が見られる中、地域に赴き支援するなど積極的に支援できている。また、関係諸団体へのアンケートやヒアリングを定期的に実施するなど、地域の運営や活動を積極的に支援できている。</li></ul>

### 2 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

#### 評価項目

##### 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・重点施策として、コロナ後における地域活動や地域活動協議会（以後、「地活協」という。）の組織運営に係る助言、指導、相談業務を地域づくりアドバイザーに取り組んでもらった。特に地活協実務者学習会（全6回）を企画し、地活協の事務や課題に対する学習会を職員とともに実施した。</li><li>・地域活動に対する新たな担い手を発掘していくため、地域活動になじみの薄い層に対し、効果的に情報発信を行うための広報講座の開催やICTを活用した地域の情報発信等の支援に取り組んできた。</li><li>・「第8回東淀川みらいE X P O」を「ROAD TO 2025 ~東淀川区のみらいデザイン~」をテーマに開催し、東淀川区の未来についてディスカッションを行い、新たな繋がりの創出を支援した。</li><li>・まちづくりフォーラムでは、福祉×防災をテーマに分野の垣根を超えた地域活動の在り方について講演会を行った。</li><li>・令和4年度からいくつかの地活協において、地活協を構成する団体以外との連携が出てきているものの、一部の地活協にとどまっており、企業等連携を進めることについて、情報発信と場づくりが、繋がりの拡充のために必要な支援であり、引き続きの取組をお願いしたい。</li></ul>

### 3 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

#### 評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・地活協の構成団体が、地活協に対する地域の実情やニーズに即した地域づくりアドバイザーの支援が実施されていると思う割合 83.2%（令和4年度 70.5%）</li><li>・地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が地活協により自律的に進められている状態にあると思う割合 89.5%（令和4年度 82.2%）</li></ul>

### 4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動において、地域格差が広がっている。自律的に新たな取組を行う地域もある傍ら、基本的な地域運営が難しい地域も出てきている。</li><li>・また、地域活動協議会の設立期から地域役員も大きく代わってきており、令和6年度は、改めて地域活動協議会の意義や活動内容を再確認し、持続可能な地域活動になるよう、ボトムアップを図る支援を行ってほしい。</li></ul>

#### （評価基準）

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。